

壬申ニシテ、元年トアルハ天武天皇ノ元年ナリ、然ルニ藥師寺塔銅擦銘ニ、維清原宮、取宇天皇即位八年庚辰之歲トアル文ニ據レバ、天武天皇ノ元年ハ即位ノ歲癸酉ニ在リ、因テ大日本史ハ、以テ壬申ヲ爲元年直欲以天武接天智之統故致此曲筆耳トイヘリ

〔大日本史〕天智按懷風藻、大友皇子、年甫弱冠、拜太政大臣、年二十三、立爲皇太子、會壬申之亂、天命

不遂、時年二十五、由是推之、元年智帝大友年二十一、爲太政大臣、三年爲皇太子、大與本書本日

紀及水鏡異、而其書成於帝大友孫、淡海三船之手、則非舊史曲筆隱諱之比、疑得事實也、附以備考、

〔憲法類編十四祭典〕大友帝外二帝奉諡御祭典ノ事

庚午三明治 七月廿四日、御布告、

大友帝

弘文天皇

右之通略御諡被爲奉候ニ付、此旨相達候事、

天武天皇

〔日本書紀二十八〕天淳中原瀛真人天皇淳中、此天命開別天皇智同母弟也、幼曰大海人皇子、略中

天命開別天皇元年、立爲東宮、立爲皇太子、天智天皇七年戊辰二月、

〔日本書紀二十九〕二年二月癸未、廿天皇命有司設壇場、即帝位於飛鳥淨御原宮、立正妃爲皇后、天

智女、鷗野讚 朱鳥元年九月丙午、九天皇病遂不差、崩于正宮、御年、一代要記、皇胤紹

持統天皇

〔日本書紀三十〕高天原廣野姬天皇、少名鷗野讚良皇女、天命開別天皇第二女也、母曰遠智娘、更名、美

娘、蘇我山田石川麻呂女、朱鳥元年九月丙午、天淳中原瀛真人天皇天崩、皇后臨朝稱制、中四年正月戊寅

朔、皇后即天皇位、元按ズルニ、持統天皇ハ、丁亥ノ歲ヲ以テ制ヲ稱シ、其歲 八年十二月乙卯、六

遷居藤原宮、十一年八月乙丑、續日本紀、朔、天皇定策禁中、禪天皇位於皇太子、文

〔續日本紀二〕大寶二年十二月甲寅、二太上天皇持崩、御年、皇胤紹運、一代要記、神

文武天皇

〔續日本紀一〕天之眞宗豐祖父天皇、代要記、歷代皇紀ニハ、天津足根豐、大父天皇トス、又釋日本紀